

# 出来るか出来ない かの究極の境目 ケーキ作りの話

丸い弧を描くそこそこ大きなカウンターで

コック長のような少し長い白い帽子を被った髭おや  
じと、

三角の同じ長さの帽子を被った背の高い女性が

ケーキ作りをしていた。

客は二列に並んでビル街のど真ん中で行列を作っ  
ている。

・・・・・・・・そのケーキがどうしても食べたいのである。  
る。

両者ともパティシエとしての経験を海外や離島のカフェで長い年月積んできた。

客たちは美味しいケーキを食べれるとうずうずして待っている。

ここで重要なポイントが・・・・・・・・

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます

した。